

## 糖尿病・内分泌内科

### 【研修内容】

#### <糖尿病>

入院患者に関しては、多くの症例を主治医として受け持ちます。

一般的な糖尿病教育入院・インスリン導入・治療薬調整などの入院に加えて、救急患者の多い当院においては、高血糖緊急症や重症低血糖の管理も多く担当します。

他科からの血糖コントロール依頼も多く、多岐にわたる症例の血糖コントロールを行います。

また、CGMS (continuous glucose monitoring system) やSAP (Sensor Augmented Pump) 療法の導入など、最新の治療も行っています。

毎週の糖尿病カンファレンスにはコメディカルも参加し、チームで診療の質の向上に取り組んでいます。

外来業務としては、週に1日50～60名程の診療を行います。

その他、糖尿病教室での講義や、患者交流会への参加など、多方面で活躍のチャンスがあります。

また、抄読会や学会・研究会での発表、論文執筆などを通じ、専門性を追求する環境が整っています。

#### <内分泌>

入院患者に関しては、多くの症例を主治医として受け持ちます。

最も多く受け持つのは、甲状腺癌の患者で、手術目的の入院や術後の放射性ヨード治療や甲状腺全身シンチグラフィーなどの管理をします。また、救急疾患として、副腎不全や甲状腺クリーゼなどの急性期疾患も受け持ちます。さらに、Hardy手術や原発性アルドステロン症や褐色細胞腫などの周術期管理も、手術科と協力して診察します。週1回、甲状腺穿刺吸引細胞診では、エコーや穿刺の技術を学び、また、内分泌カンファレンスも週に1回行われます。糖尿病同様、多数の学会発表や、論文執筆などを行います。

### 【メッセージ】

基本的な診療から、専門性の高い診療、稀な疾患の管理、急性期管理など、幅広い経験を積むことができます。医師・看護師・コメディカル含めスタッフ一丸として診療の質の向上に取り組む姿勢があり、働きやすく、自身の向上のためにも良好な環境です。

また日々の診療に加え、学会・研究会での発表の機会も多く、専門性を追及する姿勢が鍛えられます。病院規模で臨床研究の勉強会が定期的に行われており、毎回多職種多数の参加があります。

志の高い多くの仲間と交流を深め、互いを向上させる雰囲気溢れた病院です。